

安全ニュース

2020年1月号

令和 2年 1月 6日
千代田運輸 株式会社
CHIYODA
安全推進室 発行
(No.355号)



令和 元年12月 発生事故

- その他事故 1件 丸一ロジテック(株) 12/13(金) 20:00
食事休憩をした飲食店駐車場内において、当て逃げ(車両前部凹損)被害にあったものと推定される。

※ 走行中に衝突した事実はなく、ミラーを格納した状態でなければ接触し得ない場所に接触痕があり、上記場所ではミラーを格納した状況がないため。なお、休憩後出発の際に一回り点検を怠り、そのまま納車したものの。(後日指摘を受け発覚)

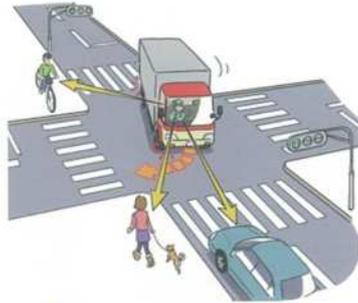
管理者研修会の開催

12月21日(土)八王子労政会館において、本年度下期の管理者研修会が開催されました。北海道・九州・四国等、全国から多くの管理者の方々のご参加をいただき、実りある研修会となりました。今回は、午前～ドラレコの便利な使い方・午後～管理者研修会と、ご要望を加味して二部構成とさせていただきます。管理者が事故抑止のストッパーとなり、引き続きの活動をお願いします。

右左折時の安全確認は一回で済ませない!

交差点を右左折する場合は、歩行者や自転車を見落とさない!

交差点を右左折するのに伴って、今まで見ていた歩行者や自転車が死角に入ってしまうなど、死角の範囲も移動します。自分の目で確認することはもちろん、サイドミラーやアンダーミラーを活用することが重要です。また、交差点を右左折するときは、右・左・後方の状況を目視(ミラー)で確認し、横断歩道の直前で、もう一度安全確認を行って下さい。



突然の雪や凍結路に注意しよう!

1月は冬の盛りです。前夜に冷え込んで朝起きたら雪が積もっているということもあります。この時期は、突然の雪を警戒することと、冬の準備が遅れたドライバーが巻き起こす思わぬ混乱に気を付けましょう。

転動などで、雪道に慣れていないドライバーが、ノーマルタイヤのまま、雪の日の朝、通勤路でスリップし、道を塞ぐことがよくあります。このため渋滞が発生し、慌てたドライバーが脇道に入って、またスリップします。「自分は大丈夫」と思っても、早めに出勤・出発して、混乱から身を守る行動をとりましょう。



令和元年12月の優良ドライバー

ドライブレコーダー評価点数「トップ5」

- | | |
|-----------------|---------------|
| 1位 (有) 丸天 | 落合 哲也さん (83点) |
| 2位 (株) ジー・ロジテック | 晴山 清志さん (83点) |
| 3位 千代田運輸(株) | 西塚 昭男さん (82点) |
| 4位 ランスタッド(株) | 大前 勉さん (80点) |
| 5位 関東車輛(株) | 田川 恒光さん (80点) |

※ 同点数の場合は、走行距離が長い方を上位とします。
※ 月間の走行距離が1,000km以上の方を対象とします。
※ 5位までのドライバーの方々には記念品を贈呈します。



私の交通安全

金沢産業株式会社 米山 晃さん(陸送)

- Q 安全運転の心構えを教えてください。
- A 車間距離を長く取ることに尽きると思います。後は、街路樹の枝に接触しないように注意しています。
- Q 趣味・余暇の過ごし方を教えてください。
- A 読書と映画鑑賞です。小説家の丸山健二のエッセイが好きで、映画は、ノンフィクション作品が大好きです。
- Q あなたの自慢話を教えてください。
- A 30歳代後半でしたが、モータースポーツが好きでラリーのチームに入っていて、ラリー選手権に出場し、中部チャンピオンになったことがあります。
- Q ご自分の長所・短所等、性格を自己分析してください。
- A 短所は、「のん気」な所です。良く言えば、「楽天的」とも言えますが...
- Q 座右の銘を教えてください。
- A 「七転び八起き」です。人生、失敗ばかりですが、何とか頑張っています。
- Q 最後に、同僚や後輩の乗務員さんに対して、ひと言お願いします。
- A 「車間距離を取る」事は大切です。これを守れば、突発時にも対応できます。後は、構内では気を抜かないことです。特に初めての場所は要注意!



新年を機に「悪いクセ」を修正しよう!

昔から「なくて七癖」と言いますが、これは車の運転時にもあてはまることだと思います。クセというのは自分自身ではなかなか気が付かないものですが、シートに座るときの運転姿勢から運転操作、走行中の運転態度まで、免許取得時に教習所で身に付けた運転の基本を今一度思い出し、自己流の習慣として定着した悪いクセを修正することを徹底してほしいと思います。例えば、運転姿勢であればシートの座り方が浅くハンドルにしがみついているような姿勢で操作している人、また、身体をゆがめて運転している人はいませんか。このような姿勢で運転していると、いざという時に適切に運転操作を行うことができません。他にも、内がけハンドルをする人、走行中にクラクションを多用したり、車間を詰め過ぎる人など、誰にでも何かしら心当たりがあると思います。

新年を迎えたこの機会に、日頃の運転を振り返り、気が付いたクセから一つづつ修正するように努めていただきたいと思います。そして今年も一年、無事故運転の継続をお願いします。



事故を起こした人は 運が悪い?

交通事故を起こしたり、交通違反で取締りを受けて、「運が悪かった」と言う人がいますが、果たしてそうでしょうか? 交通法令を遵守し、更には万全の注意をしていたにもかかわらず、事故に遭ってしまったのであれば、「運が悪い」と言えるでしょうが、自らが過失のある事故を起こし、「運が悪い」とは、開いた口が塞がりません。事故を防止するためには、「やるべきこと」と、「できること」を当たり前に行うことに尽きると思います。例えば、先月の安全ニュースに掲載した「無事故の五大原則」を実践すれば、ほとんどの事故は防ぐことができます。プロドライバーとして、「自覚ある行動と運転」に期待しています。



編集後記

令和2年! 明けましておめでとうございます。皆様方には、清々しい新年を迎えられたことと思います。人それぞれ、夢や目標は異なると思いますが、ドライバーの方は、幸せな生活を送るために仕事として車の運転をしているのに、車の運転をして不幸になることがあってはならないと、常々思っています。今年も「無事故・無災害」で幸せな一年にするため、一緒に頑張りましょう。